

笑顔とがんばりの町

広報



おのまち



Public Relations ONOMACHI



2017
9

No.655

おのまち“交流”フェスティバル

～小野高校・八重山農林高校の深まる友好/共に歩む震災からの復興～

おのまち“交流”フェスティバル

～小野高校・八重山農林高校の深まる友好/共に歩む震災からの復興～



2



1



4



3



6



5

1_町からの記念品贈呈/2_八重山農林高等学校からの記念品贈呈/3・4_八重山農林高等学校郷土芸能部の八重山地方に伝わる演舞/5_上羽出庭じゃんがら念仏踊り/6_小野高等学校による交流記録の発表

「おのまち交流」フェスティバル」が8月5日、多目的研修集会施設大ホールで行われました。

昨年度、小野高等学校と友好協定を結んだ沖縄県立八重山農林高等学校が小野町を訪れたことから、両校の交流に
対し町を挙げて歓迎すること
と併せ、小野町と地域間交流
に関する協定を締結している
広野町と川内村の住民の方々
を招待し、震災からの復興を
共有することを目的に開催し
たところ、町内外から多くの
方々に来場いただきました。

はじめに、歓迎式典が行われ、町長から歓迎のあいさつと来町された八重山農林高等学校と石垣市に対して町から記念品の贈呈があり、また町に対して中山義隆石垣市長からのメッセージと八重山農林高等学校からの記念品をいただきました。

式典の中で、遠藤智広野町長、遠藤雄幸川内村長から震災復興の現状について報告があり、あらためて復興に向けて支え合いながら進んでいく



7_小泉先生による講演／8_新田内長獅子舞
 9_交流自治体の特産品を手取る来場者の皆さん／10_八重山農林高等学校の生徒の皆さんと渡久山さん(中央)／11・12_震災復興の現状について報告する遠藤広野町長と遠藤川内村長／13_町内外からの来場者の皆さん／14_交流フェスティバル後の様子



ことを確認しました。

その後、昨年度に小野高等学校が八重山農林高等学校を訪れ交流した記録の発表や両校の交流の橋渡しにご尽力いただいた小野町名誉町民で東京農業大学名誉教授である小泉武夫先生から「石垣市と小野町を結ぶ『結い』」と題し講演をいただきました。

ステージイベントでは、小野町の伝統芸能である上羽出庭じゃんがら念仏踊り保存会と新田内長獅子保存会による演舞、八重山農林高等学校郷土芸能部による八重山地方に伝わる演舞、そして石垣市縁のアーティスト渡久山南葵さんの三線演奏など会場が一体となり大いに盛り上がりました。

このたびの「おのまち」交流「フェスティバル」開催にあたり、ご協力をいただいた多くの皆さんに、紙上より厚くお礼申し上げます。



第25回サマーキャンプ中学生の翼
大きく羽ばたいた
団員たちの記録

今年で25回目を迎えたサマーキャンプ中学生の翼には、中学2年生の団員16人が参加し、8日間の日程で研修が行われました。

一行は8月1日、小野町を出発し、成田空港からアメリカ合衆国ニューヨーク空港まで約13時間のフライトを経てグレンロック町へ到着しました。到着後すぐに歓迎会を開いていただき、あたたかい歓迎を受けました。

今回の研修は、全日程がホームステイでの滞在であり、それぞれの家庭で過ごす時間が多く、団員は家族の一員として過ごしました。アメリカの文化や生活習慣などに触れ、また折り紙やあやとりなどで一緒に遊んだり、日本料理を振る舞うなどして、日本文化を紹介しました。

研修の中では、グレンロック町内での研修(図書館、警察署、消防署、学校、役場などの公共施設訪問)、世界有数の大都市ニューヨークでの研修(自由の女神像、グラウンドゼロ、タイムスクエアなど)のほか、今回初めての試みとして、お世話



13



10



8



14



11



9



15



16



12

1_グレンロック町役場前で/2_歓迎会
 /3_消防署での救急救命講座/4_学校
 見学/5・6_ニューヨーク市内見学/7_
 奉仕活動で花壇の手入れ/8・9_研修の
 様子/10_樹木園にて/11_老人福祉施
 設で折り紙/12_グレンロックの前で/
 13_二人羽織に挑戦/14_団員によるお
 礼の歌/15_お別れパーティ/16_帰国
 の朝

になるグレンロック町への恩返しに、老人福祉施設の訪問や大通りの清掃、公園の樹木の手入れなどの奉仕活動を行いました。

団員たちはこの研修で、アメリカの文化や寛容性に触れ、渡航に際してのマナーや安全管理、自身の目標や自己管理について考え、家族や友人のありがたみや日本文化の良さをあらためて感じ取ることができました。多くのことを学び、大きく成長した団員たちは、8月8日に全員元気に帰町しました。



「サマーキャンプに参加して」

2年1組 坂本 和海

今回、町の代表の一人としてアメリカ研修へ参加させていただいたことを光栄に思います。

私が研修で学んだことは、普段私たちが授業で習う英語と現地の方が話す生きた英語の違いです。私たちが授業で習うのは、文法を重要視した正確な英語ですが、現地では会話の形式に合わせた実用的な英語が使われていました。現地の同世代の友達がたくさんできて、会話もたくさんしたのですが、時々分からない言葉があり、悔しい思いをしました。

私は今回の研修を機に、次は自分で海外へ行く時までに英語をマスターすることを目標に決めました。最高の思い出ができました。ありがとうございました。



ホストシスターと

「サマーキャンプに参加して」

2年1組 草野 耕太

僕はサマーキャンプに参加して、学んだことがあります。それは、たとえ言葉が通じずとも、伝えようとする意志が大切だということです。ホストファミリーとの会話の中で、伝えたいことが伝わらないということがありました。しかしジェスチャーなどを交えて会話をしてみたら、伝わったのです。しっかりと伝えようとするれば、相手も分かってくれるのだと思います。

そして「積極的に行動する」という僕の目標もしっかり達成できました。ホストファミリーとも積極的に会話をしました。

この研修で学んだことを日本でも生かして、積極的に行動したいと思います。



食事風景(左)

「世界に目を向けて」

2年4組 折内 禎奈

今までの研修をとおして、私は多くのことを知り、学びました。

私は、今回の研修でホストファミリーとニューヨークの博物館に行きました。そこには、恐竜の化石が所狭しと並んでいて、誰もが知っている有名なものから、まだ見つかったばかりで名前さえついていないものまで、とにかくたくさんあったのです。規模が違い、ここまでアメリカと日本は違うのか、そう思いました。

世界には私の知らない世界がまだまだ広がっているということをあらためて実感することができました。アメリカのほかにも国はたくさんあるので、いつか行ってみたいです。



ホストファミリーと(中央)



食事風景(左から2番目)



自由の女神像の前で



救急車の前で



「研修に参加して」

2年3組 竹川 元樹

今回、僕がこのサマーキャンプ中学生の翼に参加するにあたり「自分らしさを出す」という目標を立てました。実際に、僕は自分らしさを出して、団員やホストファミリーの皆さんとお互いのことを深く知ることができたと思います。

次に気付いたことです。ホストファミリーの会話を聞いていると、ところどころ英語を省略しているところがありました。初めは、何で抜けているのだろうと思いましたが、会話を聞いていると会話の内容が徐々に分かるようになってきました。

今回のサマーキャンプ中学生の翼では、自分の目標も達成でき、リスニング力も上がったので、とても良い研修でした。



ホストファミリーと(中央)



消防署で放水訓練(中央)

「今回の研修をとおして」

2年3組 大樂 未咲

私は今回の研修に参加する上で「広い視野を持ち、コミュニケーション能力を高め自分を成長させる」という目標を立てました。初めて訪れた異国の地は、やはりそんなに甘くはありませんでした。日本とは大きく違う環境にとっても困惑しました。しかし目標を達成するため、少しずつ自分から会話を持ちかけ積極的に、また公共施設見学の際は、日本と違うところを広い視野で見つめるといった努力をすることができました。時には伝わらないこともありましたが、自分を信じて何とか伝えることができました。これらをとおしてたくさん挑戦することができ、自分自身が成長できたと思います。私にとって良い経験でした。



ホストファミリーと(左から3番目)



樹木園にて(左)

「サマーキャンプをとおして学んだこと」

2年4組 先崎 妃那

私はサマーキャンプに参加して、異国の文化に触れたり、英語で会話したりしたことで、これまでになかった自分になれたと感じました。私は人見知りをなくすために、自分から積極的に人と話し、コミュニケーション力を高めることを目標としていました。実際にアメリカでの研修では、積極的にホストファミリーや現地の方と自分のことやそれぞれの国について会話することができました。

今回の研修をとおして、人とのコミュニケーションや積極性など、目標を達成することができました。今後は、もっとコミュニケーション力を高めて、誰にでも心を開けるようになりたいです。



ホストシスターのお手伝い(右から2番目)



一緒にお好み焼き作り(左)



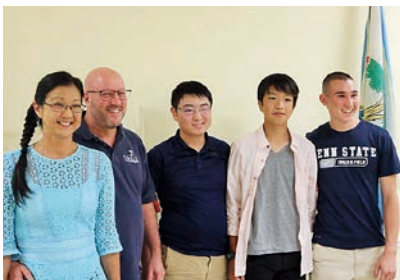
「アメリカ研修で学んだこと」

2年3組 二瓶 雄太

僕は今回の研修で、これから生きていく上で大切にしたいことを2つを見つけました。

1つ目は、自分が今まで過ごしてきた世界とは違った文化を知ることの大切さです。アメリカでの日本とは違う価値観や考え方を実際に体験することで、日本で生活をするだけでは得られない見方を得ることができました。

2つ目は、国や文化が違ってても、自分に伝えようとする意志があれば、コミュニケーションはとれるということです。これからは、多くの外国人と接する機会があると思います。その時も、この経験を生かしたいです。



ホストファミリーと(中央)

「僕がアメリカで学んだこと」

2年3組 生天目 洸星

僕の研修の目標は「ホストファミリーに積極的に話しかけること」でした。はじめは緊張しあまり話しかけることができませんでした。しかし慣れてくるうちにホストファミリーに打ち解けることができ、だんだん話せるようになりました。ホストファミリーと会話ができる時はとてもうれしかったです。ホストファミリーの方々はとても優しくフレンドリーで、彼らも積極的に話しかけてきてくれました。そのおかげで、現地で過ごした日々はとても充実していました。そして「言葉」よりも「伝えようとする気持ち」の方が大事だということに気が付きました。これからは、この経験を生かして頑張っていこうと思いました。



ホストファミリーと(左から2番目)

「サマーキャンプをとおして学んだこと」

2年4組 長久保 周子

私は、この研修に参加し、新たな経験をたくさんすることができました。特に日本との違いを感じたのは、3日目のニューヨーク市内研修の時です。市内は人がとても多く、デジタル画面のついた大きくて高い建物が連なっていました。そこでは、日本との違いや大都市の雰囲気を感じることができました。しかしクラクションがたくさん鳴っていたり、大勢で騒いでいる人がいたり、治安があまり良くないと感じました。このことから、日本や小野町の良さをあらためて考えることができました。

今回の研修は、この先もずっと思い出に残るものとなりました。この経験を忘れず、普段の生活に生かしていきたいです。



ホストファミリーと(左から3番目)



フェリーにて(右から2番目)



大西洋にて(左)



自由の女神像の前で(右)



「サマーキャンプをとおして」

2年1組 村上 英里香

私は、このサマーキャンプに参加するにあたって「多くの人との会話を、自信を持って行う」という目標を立てました。

今回の研修は、私にとって初めてのことばかりで、本当にたくさんを経験できました。グレンロックの人々は、誰にでもフレンドリーで、お話しをする時はいつも笑顔で、私は会話を楽しむことができました。そのため、好きな物などの何気ない会話を自分からすることもできました。

8日間の研修を終えて、自分でやってみないと分からない、ということを実感することができました。この機会に感謝し、今回学んだことを生かして成長していきたいです。



ホストシスターと(右)



自由の女神像に向かうフェリーにて

「アメリカで学んだこと」

2年1組 村上 蒼志

僕は、今回の研修でいろいろなことを学びました。

初めて行く場所、初めて出会う人々、慣れない環境、なかなかうまく言葉の通じない場所でコミュニケーションをとることはとても大変でした。しかしその中で学べることもたくさんありました。積極性やコミュニケーションをとることの大切さなど、とてもたくさんを学べて良かったです。

僕は、今回このような機会を設けていただいた町の方々、同行していただいた引率の方々、グレンロックの町民の皆さん、ホストファミリーの皆さんに感謝をし、今回の研修で学んだことを今後生かしていきたいと思えます。



スティーブンさんと(右から3番目)



ニューアーク空港にて

「アメリカで得たもの」

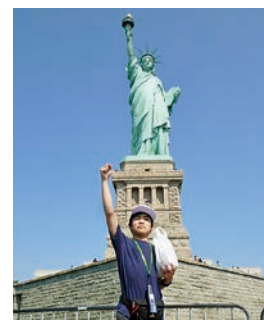
2年2組 橋本 幸明

僕がアメリカで得たものは、積極性です。僕は、自分から友達と会話することが苦手で、積極的になることを目標にしました。そしてアメリカのファミリーと話していくうちに、次第に積極的になった気がしました。特に「明日は何時に起きればいいですか」という質問をしたときには、難しくても伝えようとする気持ちがあれば通じるということを感じました。

今回の研修で得られたものはほかにもあります。多くの知識、本場のハンバーガー、日本との違いなど…。そして何より、ホストファミリーとの絆です。皆優しくて、とても明るくて、いつでも助けてくれました。叶うなら、また行きたいです。



ホストファミリーと(右から2番目)



自由の女神像の前で



「サマーキャンプ」

2年2組 吉田 鈴

私は人と話すことが苦手だったので、今回の研修に向けて「自分からコミュニケーションをとる」という目標を立てました。

最初は、なかなか自分から会話に入れず、質問に答えているだけでしたが、徐々に自分から質問をして、会話のキャッチボールができるようになりました。しかし自分の英語力がまだまだ足りないことを思い知らされました。アメリカと日本の文化の違いもいろいろとあって、とても勉強になる研修でした。特に食文化の違いは楽しくもあったけれど、日本食が非常に恋しかったです。

この貴重な体験をこれからに生かしていきたいです。



ホストファミリーと(右から2番目)



ホストマザーと

「サマーキャンプで学んだこと」

2年4組 矢吹 葉和

私はサマーキャンプに参加して、アメリカの文化を学ぶこと、さらに日本の文化を伝えることを目標にしました。訪問した老人ホームでは、折り紙で鶴やクローバーを折ると、おばあちゃんがいっことほほえんでくれました。心が通じたように思い、うれしかったです。

ホストファミリーの家庭でお手玉を披露すると「ジャグリングに似ているね」と言われ、アメリカにも同じような遊びがあることが分かりました。お別れの日、ホストマザーに「あなたは英語、私は日本語を勉強してまた会いましょう」と言われました。私はこの約束を叶えるため、またアメリカに行くことを目標に、これからも英語の勉強を頑張りたいと思います。



ホストファミリーと(左から3番目)



おばあちゃんと(左)

「アメリカ研修を終えて」

2年3組 村上 香穂

私は今回の研修で「いつでも積極的になること、コミュニケーションをたくさんとり、広い視野を持つこと」を目標にしました。

ホームステイ先では、積極的に英語で話しかけたり、聞いたりして、自分のことや家族のこと、学校のこと、小野町のことなどを発信しました。また日本とアメリカでの生活様式やさまざまな文化の違い、それぞれの長所や短所を発見することもできました。そして、アメリカの有名な建造物や像を実際に見て、アメリカの文化を学ぶことができました。

今回の研修で学んだことや感じたことをこれからの生活に生かし、いろいろな人に伝えていきたいです。



ホストファミリーと(右から3番目)



ワンワールド展望台にて(中央)



指導員(小野中学校教諭)

竹川 秀樹

初めてのアメリカの地で、現地の方々の温かさや大らかさを感じてきました。彼らはいつも笑顔で人と接し、笑い声を絶やさず、よく食べます。失敗を気にせず、前へと進んでいきます。そして、人とのコミュニケーションをととても楽しんでいきます。人と関わり、人を理解するという点で、とても大事なことを学ぶことができました。

教員という立場で振り返ると、「広い視野をもち」「物怖じせずに自分から行動でき」「人の気持ちの分かる」子どもを育てていきたいと強く感じました。世界に、そして地域に貢献できる子どもたちの育成に今後も努めてまいります。

このような機会をいただいたことに感謝申し上げます。



ホストファミリーと(中央)

団長(教育課長)

吉田 吉広

25回目となる当事業は、平成の初めから今年まで、さまざまな方のご尽力により続けてくることができました。参加団員は16人で、全員が多くの有形無形のお土産を持って元気に帰町できたことは、引率者としてこの上ない喜びであります。ホームステイを行いながら、現地の公共施設の研修や今回は新たに老人福祉施設入所者との交流なども行いました。海外旅行が身近になった今でも、このような研修は貴重であり、多感な時期にこのような機会を得られたことは、団員にとって有意義な経験になったと引率者として自負しています。

人工知能やロボットの発達・普及により働き方が変化し、少子高齢化・人口減少により外国人労働者が国内へ流入するなど、社会生活が大きく変化していく中で、今回の経験をとおして新たな発想が生まれ、それらが生活を共にする隣人にも伝わることを期待し、研修の総括とします。



引率者の3人

「アメリカに行って」

2年1組 渡邊 柚稀

今回の研修が始まる前は、アメリカの方々とコミュニケーションがとれるか心配でしたが、私たちが温かく迎えてくださり、安心して過ごすことができ、グレンロックと小野町の友好的なつながりの深さを感じることができました。

私のホストファミリーは日本人だったので、海外で生活する日本人の様子を知ることができました。研修中は自分で考え、自分から行動することを心掛け、目標にして意識することで、行動に移せるようになりました。

私は、今回の研修で日本では経験できないことを経験し、たくさんの感動がありました。研修で学んだことを生活や学習に生かしていきたいです。



ホストファミリーと(右)



奉仕作業後に(左)



グレンロック町って どんなところ？



アメリカ合衆国ニュージャージー州グレンロック町は、町の面積が6.75km²(小野町の約18分の1)で人口は約11,000人の比較的小さな町です。

ニューヨーク市から35km離れた場所に位置するため、ニューヨーク市で仕事をする方々のベットタウン的な存在となっています。

町は小さいですが自然あふれる落ち着いた住宅街です。

また町にはいくつかの公園や樹木園があり、アウトドアを楽しむ住民で活気に満ち溢れています。

町の中央には、氷河によって運ばれてきたという巨大な岩があり、町のシンボルとなっています。



指導員(教育課副主幹)

清野 淳子

16人の団員は多くの夢と希望、そして少しの不安を胸に、きらきらと目を輝かせ、世界大国アメリカへと旅立ちました。

グレンロック町ではホストファミリーや町の皆さんに温かく歓迎され、言葉が通じなくても表情やジェスチャー、相手を思いやる気持ちなどで互いの思いが通じることを知り、また相手を理解しようとする気持ちが日本でもアメリカでも大切だと気付くことができました。

普段は経験できない貴重な機会を与えていただいたこと、そしてお世話になったグレンロックの皆さんに心から感謝します。

16人の団員と共に過ごしたこの暑い夏は、私の一生の財産となりました。



ホストファミリーと(中央)

柔道・陸上で東北・全国大会出場!



◆柔道女子40kg級 吉田早希さん

吉田早希さん(小野中2年・柔道部)は、7月24日に白河市中央体育館で行われた福島県大会柔道女子40kg級で優勝、続く東北中学校柔道大会では準優勝し、全国大会に出場しました。

8月24日に福岡国際センターで行われた全国中学校柔道大会では、2回戦で地元福岡県代表と対戦し、横四方固めで敗れましたが、体格差を技術で補い堂々と戦いました。

小柄な吉田さんはまだ2年生。来年度はさらに強くなり、全国大会での入賞を期待します。



◆陸上共通女子200m 柳沼凜さん

柳沼凜さん(小野中3年・特設陸上部)は、7月6日に郡山市開成山陸上競技場で行われた福島県大会陸上共通女子200mの決勝レースを27秒22で駆け抜け3位入賞を果たし、東北陸上競技大会に出場しました。

8月8日に青森県総合運動公園陸上競技場で行われた東北大会では、スタートから前半のスピードを生かした走りで、後半まで他県の選手と互角に競り合うなど、予選突破はなりませんでしたが、堂々とした走りを見せてくれました。



1・2_柔道で全国大会へ出場した吉田さん/3_福島県中学校体育大会決勝で3位入賞を果たした柳沼さん(左から3番目)/4_東北・全国大会出場の報告に役場を訪れた柳沼さん(左から2番目)と吉田さん(右から2番目)

地域発展に協力

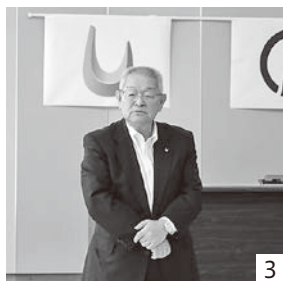
学校法人郡山開成学園と包括連携協定を締結



1_(前列)左から影山郡山女子大学副学長、関口理事長、町長、議長、(後列)左から先崎准教授、降矢事務局長、石村郡山女子大学短期大学部副学長、副町長、総務課長、小桜ちゃん



2



3

2_協定書にサインする関口理事長(左から2番目)と町長(右)/3_あいさつを述べる関口理事長

学校法人郡山開成学園と小野町との包括連携協定締結式が8月21日、役場で行われました。

協定式には、郡山開成学園から関口修理事長や影山彌郡山女子大学副学長などが出席し、町長と協定書に署名をしました。

式中、町長から「両者の連携により、町の人口減少対策に弾みがつくものと期待している」と、また関口理事長が「学問は実社会に適用されてこそ生きてくる。連携により地域発展に貢献したい」とそれぞれあいさつし、議長が祝辞を述べました。

郡山開成学園は、昭和22年に創立。郡山女子大学、郡山女子大学短期大学部、附属高等学校、附属幼稚園などを擁し、地域の女子教育の拠点として多

くの有用な人材を輩出しています。

協定では、相互の連携と協力により地域の課題に適切に対応し、活力ある地域社会の形成発展を目指すとしており、主な連携分野は次のとおりです。

《学校法人郡山開成学園との主な連携分野》

- ①子育て環境の向上に関すること。
- ②人材育成・人材確保に関すること。
- ③健康栄養および福祉の増進に関すること。
- ④食の安全確保・食品開発に関すること。
- ⑤地域創成に関すること。
- ⑥その他協定の目的を達成するため必要な分野に関すること。

イベントや花火大会でにぎわう

おのまち夏まつり

小野町商工会主催のおのまち夏まつりが8月15日、小野新町小学校で開かれました。

連日の雨の影響で会場が校庭から体育館へ変更となりましたが、町内外から約6,000人が来場しました。

小野中学校吹奏楽部や小町夢太鼓による元気あふれる演奏、夏を感じるフラダンスショーなどが行われたほか、川奈真理さんや小野町観光大使の小町雪乃さんによる歌謡ショー、kaho*さんのライブ

ステージが披露され、会場を盛り上げていました。

また子どもたちには「こまちレンジャー」や魚つかみが人気を集めていました。

夏まつり恒例の「たかむら踊り」では、たかむら音頭保存会の皆さんの太鼓に合わせ、色とりどりの浴衣や法被を身にまとった踊り手の皆さんが、幾重もの大きな輪を作っていました。

夏まつりの最後には、約300発の花火が大空一面に打ち上げられ、来場者の笑顔を照らしました。



1_子どもたちに大人気の魚つかみ取り/2_小町雪乃さん・川奈真理さんの歌謡ショー/3_フラダンスショー/4_kaho*さんのライブステージ/5_毎年恒例のたかむら踊り/6_小町夢太鼓の皆さんによる太鼓の演奏/7_夜空を焦がした大花火

次代を担う人材育成のため

第1回小野町放課後子ども総合プラン運営委員会

第1回小野町放課後子ども総合プラン運営委員会の委嘱状交付式ならびに委員会が8月9日、子育て支援課キッズルームで行われました。

委員会では次代を担う人材を育成するため、すべての児童が放課後などを安全・安心に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるよう放課後児童クラブと放課後子ども教室の活動状況などについて協議が行われました。

新たに委嘱を受けた運営委員は次の方々です。(敬称略)

小野町放課後子ども総合プラン運営委員(任期：平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

印南 洋哉(小野新町小学校PTA会長)

松本 幸治(夏井第一小学校PTA会長)

羽生 勝明(飯豊小学校PTA会長)



委嘱状交付の様子

宗像利男さん(菖蒲谷)を新たに委嘱

行政相談委員・小野町幼児教育施設苦情解決第三者委員

小野町を担当する行政相談委員に宗像利男さん(菖蒲谷字柳作53番地 ☎72-5146)が新たに委嘱されました。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱し、国などが行う仕事への苦情や意見、要望などを受け付け、助言や関係機関への連絡を行い、問題解決のお手伝いをする民間ボランティアです。行政相談委員は、いつでも相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

また行政相談委員に委嘱されたことに併せて、小野町幼児教育施設苦情解決第三者委員にも新たに委嘱されました。

第三者委員は町内の公立保育園などの幼児施設利用者から苦情申し立てがあった場合に、施設を適切に利用できるよう助言や解決に向けた調査などを行います。

なお任期は平成29年8月1日から平成30年3月31日までです。



委嘱された宗像さん(右)

「こども手帳」を寄贈いただきました

公益財団法人日本公衆電話会福島支部から「小野町の子どもたちのより安全・安心な生活づくりに活用いただきたい」として「こども手帳」を寄贈いただきました。

安瀬相談役から西牧教育長に手渡された手帳は、町内の4年生以上の小学生が活用し、生活全般の安全やルールを守ることなど「自ら考え、行動」することを学ぶ一助となっています。

日本公衆電話会福島支部のご厚意に対し紙上より厚くお礼申し上げます。



教育長へ手帳を手渡す安瀬相談役(右)

丹精込めて育てた花の苗を寄付

小野高等学校の生徒が8月10日、役場を訪れ、授業の一環として育てた花(ペゴニア)の苗を寄付いただきました。

寄付いただいた苗は役場玄関前に設置され、役場を訪れた皆さんの心を和ませています。

小野高等学校のご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



町長(左)へ苗を手渡す小野高校の生徒



除草作業を行う参加者の皆さん

町の玄関口を美しく

こまちみどり愛護会美化活動

こまちみどり愛護会主催によるあぶくま高原道路小野インターチェンジ周辺の美化活動が7月22日と8月19日に行われました。

6月に植栽したマリーゴールドやサルビアの花壇整備や除草作業、周辺のゴミ拾いを行い、小野町を訪れる方々を出迎える準備をしました。

早朝から作業に参加された皆さん、助成金をお贈りいただいた小野町ライオンズクラブの皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。

また10月21日^④には、アジサイの植栽活動と交流会を予定しています。皆さんの参加をお待ちしています。

④地域整備課 ☎72-6937

ダム周辺の環境美化

こまちダム周辺環境整備

こまちダム周辺環境整備が8月20日に行われました。

この環境整備は、菖蒲谷・雁股田行政区、夏井川漁業協同組合小野滝根支部、こまちダム愛護会、小野町建業会などの皆さんにより毎年行われているもので、当日は約100人の協力により草刈りやゴミ拾いが行われました。

環境美化へご協力をいただいた皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。



除草作業を行う参加者の皆さん

日頃の練習の成果を発揮

第32回 B & G スポーツ大会福島県大会

第32回 B & G スポーツ大会福島県大会が7月30日、本宮市白沢 B & G 海洋センターおよび本宮市白沢体育館で開かれました。

大会には小野町代表として、小野町水泳スポーツ少年団と小野町剣道スポーツ少年団がそれぞれ出場し、日頃の練習の成果を発揮しました。

結果は小野町水泳スポーツ少年団が見事3位入賞を果たしました。

試合をとおして選手間の交流も深まり、有意義な大会となりました。



小野町水泳スポーツ少年団(上)と
小野町剣道スポーツ少年団の皆さん



練習に取り組む様子

水泳で親子のふれあい

平成29年度親子水泳教室

平成29年度親子水泳教室が7月31日から8月4日までの5日間、B & G 海洋センターで開かれました。

教室では、6組の親子13人が参加し、親子練習の後、親の組と子どもの組に分かれて、それぞれ水泳の基礎を学びました。子どもたちは、水に顔をつけたり潜ることから練習し、その後ビート板キックやクロールの練習を中心に行い、全員が熱心に取り組んでいました。また最終日には、それぞれの児童が5日間の練習の成果を披露しました。

今回の教室で、親子のふれあいだけでなく、より一層水に親しむきっかけになりました。

福島大学児童文化研究会公演

人形劇「マークとまほうのたね」

福島大学児童文化研究会の皆さんによる人形劇公演が8月10日、多目的研修集会施設で行われました。

これは、福島大学生の皆さんの研究活動の一環で、芸術鑑賞の機会の提供と子どもたちの健やかな成長のため、小野町と田村市、いわき市でそれぞれ実施されたものです。

公演では、ボードビル(声の無い劇)「大空とふしぎなボール」と「マークとまほうのたね」が披露されました。また皆で手遊びやゲームなども行い、会場を訪れた幼児から小学生、保護者など約100人の皆さんが一緒になって楽しみました。

福島大学児童文化研究会の皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。



人形劇の様子

学力向上対策事業

サマーショートプログラム

小野町教育委員会では、夏季休業中の8日間の日程で小野中学校3年生を対象に「サマーショートプログラム(夏期講習)」を実施しました。

これは受験に向けて、その対策を中心に学習したり、それぞれの課題に応じて個別に学習したりすることにより、進路実現に向けた学力の向上を図るとともに、小野町出身の大学生を活用することにより、地域の人材を育成することを目的として行っているものです。

講習会では英語と数学の2教科について、塾講師による一斉指導のほか、県のサポートティーチャー2人と小野町出身大学生5人を講師に個別指導を行い、計71人の生徒が参加しました。

また今年度は、特別プログラムとして8月7日と21日の2日間、小野中学生と福島県立医科大学の大学生との交流会を開催しました。小野中学校の1年生から3年生までの計15人が参加し、勉強の方法や受験に関すること、地域医療に関することなどについて活発に意見交換を行いました。



1_一斉指導/2_個別指導/3_特別プログラム

健康づくりラジオ体操講習会開催

ラジオ体操と言えば、健康づくりの一環として、年齢・性別に関係なく行える軽運動ですが、正しいラジオ体操を身に付けることで、より一層その効果を実感することができます。

今回、ラジオ体操の専門講師(現在NHKテレビラジオ体操指導者)2人を招いて、実演と解説による講習会を実施します。正しいラジオ体操を継続して行う習慣を身に付けることで、さらなる健康維持・増進を図ることができます。

参加は無料ですので、ぜひご参加ください。

◆日時 9月17日(日) 午前9時から午前10時30分まで

◆場所 スマイル公園(小野運動公園内)
※雨天時は多目的運動施設で行います。

◆参加方法 電話にてお申し込みください。
(名前・年齢・電話番号をお聞きます)
※団体でのお申し込みも大歓迎です。

◆応募締切 9月14日(金)まで

◎町民体育館 ☎72-2518

NHKテレビ・ラジオ体操出演者



鈴木大輔さん



原川愛さん

地域の防災力を高め

災害に備えましょう

9月には「防災月間」です。大正12年9月1日に発生した関東大震災によって大きな被害を受けたことをきっかけとして、地震や風水害などの災害に対する防災意識を高めるために、9月1日は「防災の日」として制定されています。

近年、東日本大震災や熊本地震など各地で大災害が発生しており、今後同じような災害が発生してもおかしくありません。

「自助」「共助」「公助」のそれぞれの重要性をよく認識し、一人ひとりが災害に対する備えをしておきましょう。

《自助》

「自らの生命は自らが守る」という『自助』の意識のもと、普段から災害に関する知識を身に付け、地震が発

生したときでも適切な行動がとれるように、防災訓練などに積極的に参加して防災行動力を高めましょう。

《共助》

「自分たちのまちは自分たちで守る」という『共助』の意識を地域全体で共有し、地域の皆さんが一体となり協力して助け合い、地域の協働体制づくりを進め、いざというときに備えましょう。

《公助》

個人や地域では解決できないことに対して、町や消防、警察などの行政機関や公共企業が行う支援により、災害時における被害を最小限にとどめるための取り組みを行っています。

弾道ミサイル発射時の行動について ～爆風や破片などによる被害を避けるために～

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください

<屋内にいる場合>

できるだけ窓から離れるか
窓のない部屋に移動し
頭部を守る



<屋外にいる場合>

速やかに近くの
建物(頑丈)
に避難する



<屋外にいて、近くに建物がない場合>

物陰に身を隠すか
地面に伏せて頭部を守る




弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線でサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メールなどにより緊急情報をお知らせします。

詳細については、国民保護ポータルサイト(<http://www.kokuminhogo.go.jp>)をご覧ください。

問 町民生活課 ☎72-6933

地震そのとき10のポイント

地震時の行動	<p>◆地震だ！まず身の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは身の安全を最優先に行動する。 ・丈夫なテーブルの下や物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。 ・高層階では、揺れが数分続くことがある。大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒、落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。 	<p>◆火災や津波 確かな避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。 ・沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所へすばやく避難する。 
	地震直後の行動	

地震に対する10の備え

身の安全の備え	<p>◆家具類の転倒・落下・移動防止対策をしましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。 ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒、落下、移動防止措置をしておく。 	<p>◆家族で話し合しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震が発生したときの出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。 ・外出中に家族が帰宅困難になったり離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。 ・家族で避難場所や避難経路を確認しておく。 ・普段の付き合いを大切にするなど、隣り近所との協力体制を話し合っておく。 	
	<p>◆けがの防止対策をしましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。 ・停電に備えて懐中電灯をすぐ使える場所に置いておく。 		<p>◆地域の危険性を把握しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップなどで、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。 ・自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。
	<p>◆家屋や塀の強度を確認しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。 ・ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないよう補強しておく。 		
初動対応の備え	<p>◆消火の備えをしましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。 <p>◆火災発生の早期発見と防止対策をしましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。 ・普段使用しない電気器具は、差し込みプラグをコンセントから抜いておく。 <p>◆非常用品の備えをしましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。 ・車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。 	<p>◆防災知識を身に付けましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞やテレビ、ラジオ、インターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身に付けておく。 ・消防署などが実施する講演会などに参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。 <p>◆防災行動力を高めましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。 	

※詳細については、東京消防庁のウェブサイト (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>) をご覧ください。

地域おこし協力隊活動記

東京タワー～ジブンとカブと時々コンビニ～

地域おこし協力隊の菅原です。日々、町のチラシやポスターなどの制作に勤しみ、デザインの勉強をしている今日このごろ。街で見かけるさまざまな広告に、たくさんの工夫が凝らされていることに気が付きました。

数ある広告の中でおもしろかったのが、郡山で行われたビール祭のチラシ。タイトルを麦で囲む賞状のようなあしらいに「なるほど」と感じました。

ビール祭にはもちろん参加しました。ビールを飲みつつ、ステージや花火を堪能し、夏を味わってきました。

夏といえばもうひとつ。私の趣味のひとつにウクレレ演奏があります。いかにも夏らしい趣味ではないでしょうか。先日、横浜の赤レンガ倉庫で日本最大のウクレレイベントである「ウクレレ・ピクニック」が開かれました。去年はステージで演奏したのですが、今年は都合により見送り。会場で友人たちとワイワイ楽しんでいました。来年こそは演奏したいものです。

高木フーさんの
ウクレレ演奏！



ビール祭で打ち上げられた花火！



ふるさと小野町会

ふれあい通信



吉田 榮伸

- 夏井出身
- 神奈川支部

北陸3県の観光・見所紹介

私は、かつて富山・石川・福井の北陸3県に携帯電話の無線基地局を建設するため、金沢市に約7年間滞在し、その3県をくまなく飛び回りました。3県とも日本海と北アルプス立山連峰および白山連峰沿いにあり、季節ごとに風光明媚な自然を堪能でき、海や山の幸に恵まれ、さらに伝統工芸、郷土芸能が盛んな所です。

富山県は、立山駅からケーブルカーとバスを乗り継ぐ標高2,500mの立山室堂と黒部ダム散策。砺波平野の散居村の春はチューリップ田園栽培の風景が圧巻。夏から秋にかけて

は世界遺産・五箇山合掌造り、越中八尾・風の盆などが楽しめます。

石川県は、前田家・加賀百万石の城下町の小京都金沢が有名です。日本三大名園の兼六園や武家屋敷、東西の茶屋街などを散策し、おいしい和菓子や海鮮料理、お酒を味わいましょう。NHK連続テレビ小説「まれ」の舞台となった能登半島では、能登金剛や輪島の朝市、千枚田などを見物し、旅館連続日本一の「加賀屋」のある和倉温泉へ。白山・小松・加賀地区では、九谷焼工房や義経・弁慶の安宅の関、山中温泉など、見所盛りだくさんです。

福井県は、越前海岸の景勝地・東尋坊探訪と冬場は雪中群生の水仙を見て芦原温泉へ。福井駅を起点に越前竹人形館や恐竜館の勝山市へ。メガネ製造日本一の鯖江市が隣接しています。福井市街では越前ガニや手打ちそば、ソースかつ丼に小浜市の焼きサバなどが美味です。

北陸3県は北陸新幹線も開通し、行き来が便利になりました。ふるさと小野町の皆さんも、暇を見てぜひお出掛けください。

八重山農林高等学校との生徒交流

町からの支援により、昨年から交流を始めた、沖縄県立八重山農林高等学校の代表訪問団30人が8月5日に初めて来校しました。

今回は、郷土芸能部の生徒の皆さんが来校され、一緒に石垣島に伝わる歌を歌ったり、踊りを踊ったりして交流を深めました。また昼食交流会では町の6次化商品を使ったメニューを提供したり、農業クラブによるそば打ちの実演を披露し、小野高校の特色ある活動も紹介しました。さらに午後からは本校の代表生徒とともに多目的研修集会施設で行われた「おのまち“交流”フェスティバル」で昨年度の交流事業の発表を協力して行いました。6日には、いわき市を訪れ、震災からの復興の様子を視察するなど、“結い”の絆をさらに深めることができました。

10月には、昨年に引き続き本校の代表生徒が石垣市を訪問します。町民の皆さんのご支援、ご協力にも感謝申し上げます。



平成29年度体験入学

平成29年度体験入学を7月26日に実施し、中学生と引率者の方々155人の皆さんが参加しました。

全体会で学校紹介を行った後、各グループに分かれて体験授業と部活動見学を行いました。体験授業では、さまざまな進路希望に対応できる、総合学科という本校の特色を生かした各系列(文理総合・ビジネス・産業技術・福祉教養)の授業を実施しました。午後には、希望者を対象に部活動体験会も行いました。

参加者の皆さん、ありがとうございました。進路決定の参考にお役立てください。



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<http://www.ono-h.fks.ed.jp>

健康な身体は食事から

～食事で夏の疲れをふきとばしましょう！～

朝晩はずいぶん涼しくなってきましたが、今の時期は残暑もあり胃腸の働きも衰えがちになります。

また、強い日差しや汗により、身体に大切なさまざまな栄養素が失われています。この時期に大切なことは、疲労回復や免疫力のアップを意識した食事をしっかり摂ることです。特に朝ごはんは、1日の活動のもととなり体のリズムを整えるために重要です。スタミナを付けるためには良質なたんぱく質を含む肉や魚、大豆食品などを摂り入れましょう。

また季節の変わり目は体調を崩しやすいので、風邪予防に効果のある野菜や果物なども摂るように心掛けましょう。

《調理のポイント》

◆酸味を効かせる

酸味を効かせるとさっぱりとして食欲が増します。酢の物やレモンの絞り汁などを上手に利用しましょう。

◆だしを効かせる

かつお節や煮干し、昆布などでだしをよくとり、煮物やスープなどを作りましょう。

◆香辛料や香味野菜を利用する

香辛料や香味野菜には胃液の分泌を促進し食欲を増進させる働きがあります。

夏バテ予防に効果のある3つのメニューを次ページでご紹介しますので、皆さんもぜひ作ってみてはいかがでしょうか。

♪♪ 夏井おおすぎ保育園

おはなしだ～いすき

今年度一回目の保育参観「お話し会」が文化の館で行われました。

はじめに文化の館の職員から「絵本を読むことは親子の心が触れ合う大切な時間であり、心の安定に繋がります。またアニメのような絵本ではなく、本物の絵本による疑似体験により想像性を育むものです」と、絵本の本質についてお話がありました。保護者からは「絵本の大切さを再認識できました」と参観の感想が寄せられました。

その後、親子で一緒に大型絵本「きんぎょがにげた」などを集中して見る事ができました。触れ合い遊びでは、子どもたちは保護者の膝に乗って「さるのこしかけ♪・・・」の歌に合わせて上下し、終わりにその上からお尻が落ちると、子どもたちの楽しそうな笑い声が部屋中に響いていました。

また絵本を読みながら具体的にどの絵本を選んだら良いかアドバイスをいただき、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。



★夏バテ予防メニュー★

豚肉とピーマンの炒め物

◎材料(2人分)

・豚ロース薄切り	50g	・ニンニク	1 かけ	・味噌	大さじ1/2
・アサリの水煮	60g	・塩	少々	・酒	小さじ1
・赤パプリカ	1/2個	・こしょう	少々	・サラダ油	小さじ1
・青ピーマン	中1個	・オイスターソース			
・シメジ	1/2袋		大さじ1/2		

◎作り方

- ①オイスターソースと味噌、酒を合わせる。
- ②豚肉は食べやすい大きさに切る。
- ③赤パプリカと青ピーマンは種を取り、千切りにする。
- ④シメジは食べやすい大きさに裂く。
- ⑤ニンニクはみじん切りにする。
- ⑥アサリの水煮は、ざるにあけて水気を切る。
- ⑦フライパンに油をひき、⑤のニンニクを入れる。
- ⑧火をつけてニンニクの香りが出てきたら豚肉、シメジ、パプリカ、ピーマン、アサリを入れて炒める。
- ⑨火が通ったら、塩、こしょう、①の合わせ調味料で味付けをする。

◎栄養価(1人分)

エネルギー	塩分
139kcal	1.7g

トマトとタマネギのサラダ

◎材料(2人分)

・トマト	2 個	《ドレッシング》	
・タマネギ	1/4個	・酢	大さじ2/3
・バジル	1 枚	・オリーブ油	小さじ1
・青ジソ	1 枚	・醤油	大さじ1/2



◎作り方

- ①ドレッシングの材料をよく混ぜ合わせる。
- ②トマトは1cmにスライスして皿に並べる。
- ③タマネギは薄くスライスし、10分程度水にさらして辛味をとる。
- ④③のタマネギをみじん切りにして、トマトの上に乗せる。
- ⑤①のドレッシングをかけて冷蔵庫で冷やす。
- ⑥最後にお好みで千切りにしたバジルや青ジソを散らす。

◎栄養価(1人分)

エネルギー	塩分
62kcal	0.7g

カブとブロッコリーのコンソメ煮

◎材料(2人分)

・ブロッコリー	1/2個	・水	200cc
・ニンジン	1/3本	・固形コンソメ	2g
・カブ	1 個	・黒こしょう	少々



◎作り方

- ①ブロッコリーは小房に分け、芯に十字の切れ目を入れる。
- ②鍋にたっぷりの湯を沸かし、沸騰したら①のブロッコリーを茹でる。
- ③芯が柔らかくなったらざるにあけて冷ます。
- ④カブはくし形に8等分し、ニンジンは乱切りにする。
- ⑤鍋にニンジンと水を入れて火にかけ、串が通
- たら、カブを入れて柔らかく煮る。
- ⑥コンソメを入れて溶かし、味が染み込むまで煮る。
- ⑦最後にブロッコリーを入れてひと煮立ちしたら、器に盛り黒こしょうをかける。

◎栄養価(1人分)

エネルギー	塩分
34kcal	0.6g

相続登記はお済みですか？

～30年前に亡くなった祖父名義の土地を今から相続登記をするのは大丈夫？～

A. 相続登記は、いつまでにしなければならぬという決まりはありませんが、土地の登記名義が何年も亡くなった方のままになっていると、次のようなさまざま問題が発生しますので、相続登記は早めに行っておくことをお勧めします。

- ①相続人のうち誰かが亡くなってしまうと、新たな相続が発生し、その手続きが複雑になってしまう。
- ②相続関係者が多数となり、相続人間のトラブルが発生しやすくなる。
- ③相続人が高齢となり認知症などになってしまった場合、裁判所に成年後見人を選任してもらうなど、その手続きに余分な費用がかかってしまう。

④土地の売買や土地を担保にしてお金を借りることができない。

⑤相続登記の際に必要な住民票や戸籍などの書類が、保存期限の経過などにより取得できなくなってしまう。

☎福島県司法書士会

☎0120-81-5539(フリーダイヤル)

《電話による相談》

月曜から金曜まで(祝日を除く)

《受付時間》

午前10時から正午まで

午後1時から午後4時まで

☎福島地方法務局郡山支局

☎024-962-4505

※事前予約による面談のみ



行事カレンダー information

■健康づくり

月	日	行事	時間	場所
9	21(木)	精神保健デイケア	予約制 10:00～14:00	多目的研修集会 施設
		夜間ヘルスアップ 運動教室	19:00～20:30	町民体育館
	22(金)	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30	多目的研修集会 施設
		こころの相談室	予約制 14:00～16:00	役場分庁舎
	28(木)	夜間ヘルスアップ 運動教室	19:00～20:30	町民体育館
10	5(木)	夜間ヘルスアップ 運動教室	19:00～20:30	
	6(金)	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30	多目的研修集会 施設
	12(木)	健康栄養教室	予約制・受付 9:30～9:45	勤労青少年ホーム
		夜間ヘルスアップ 運動教室	19:00～20:30	町民体育館
13(金)	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30		

■親子の教室

月	日	行事	時間	場所
9	28(木)	親子ふれあい教室	受付10:00～ 10:15～12:00	子育て支援課 キッズルーム
10	5(木)	親子ふれあい教室 (ベビーマッサージ 教室合同)	受付10:00～ 10:15～12:00	
	11(水)	おやつ教室	予約制 10:00～10:15	
	13(金)	すくすく発達教室	予約制	

■乳幼児健診

月	日	行事	時間	場所
9	20(水)	3～4カ月児・ 9～10カ月児健診	受付 13:00～13:20	子育て支援課 キッズルーム
10	4(水)	1歳6カ月児健診	受付 13:00～13:20	

■その他の行事

月	日	行事	時間	場所
9	18(月)	第55回 小野町敬老会	10:00～12:20	多目的研修集会 施設

国民年金コーナー

生活を支える方が亡くなったとき 遺族基礎年金が支給されます

国民年金では、65歳から老齢基礎年金が支給されますが、不慮の事故などで生活を支える方が亡くなった場合には「遺族基礎年金」が支給され、国民の暮らしを守ってくれます。

◆支給対象者

亡くなった方に生計を維持されていた「子のある配偶者」または「子」に支給されます。

※遺族年金という子とは、①18歳到達年度末（3月31日）までの子、②20歳未満で障害年金の障がい等級1級または2級の子です。

◆受給要件

- ・老齢基礎年金を受給していた方が亡くなったとき
- ・被保険者または老齢基礎年金の受給資格期間を満たした方がなくなったとき。（保険料納付済期間（保険料免除期間を含む）が保険料を納付しなければならない期間のうち3分の2以上あること）
- ・死亡日に65歳未満で、死亡日のある月の

前々月までの1年間に未納がないとき。
（平成38年3月までに死亡日がある場合）

◆年金額と子の加算額

遺族基礎年金は779,300円に子の加算額を加えた額が支給されます。

子の加算額は1人につき224,300円（2人目まで）、3人目以降は1人につき74,800円となります。

※子が受給する場合の加算額は、2人目以降に子の加算が行われ、前記の加算額を子の人数で除した額となります。

◆厚生年金の加入者

遺族基礎年金は、厚生年金の加入者にも支給されます。受給要件などがありますので、詳細はお近くの年金事務所にお問い合わせください。

☎郡山年金事務所

☎024-932-3434

☎町民生活課

☎72-6933

■遺族基礎年金の年金額・子の加算額

受給者	子の人数	年金額(A)	子の加算額(B)	合計(A + B)
子のある配偶者	1人	77万9,300円	22万4,300円	100万3,600円
	2人		44万8,600円	122万7,900円
	3人		52万3,400円	130万2,700円
子	1人	77万9,300円	0円	77万9,300円
	2人		22万4,300円	100万3,600円
	3人		29万9,100円	107万8,400円

お知らせ information

お知らせ

郡山税務署からのお知らせ

事業者を対象とした消費税軽減税率制度説明会を開催します

郡山税務署では事業者の方を対象として、平成31年10月から実施される消費税軽減税率制度に関する説明会を下表の日程で開催します。

多くの事業者の方に関係のある制度ですので、ぜひ説明会にお越しください。なお会場の都合上、席に限りがありますので、ご了承ください。

■消費税軽減税率制度説明会日程

日程	時間	会場	所在地
10月19日(木)	10:00~11:00 13:30~15:00	大槻ふれあいセンター	郡山市大槻町字中前田56-1
10月20日(金)		船引公民館	田村市船引町船引字南元町28
10月24日(火)		安積総合学習センター	郡山市安積町荒川字南赤坂265

※内容は午前・午後ともに同じです。

●郡山税務署法人課税第一部門
024-932-2041
(代表)

※電話は自動音声により案内していますので、音声案内に従い「2」を選択してください。

建退共からのお知らせ

知っていますか？建退共制度

建退共制度は、中小企業退職金法に基づく建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の進歩を目的として設立され、事業主の方々が労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

◆加入できる事業主

建設業を営む方

◆対象となる労働者

建設業の現場で働く方

◆掛金

月額310円

◆特長

- ・国の制度なので安全、確実、申し込み手続きは簡単です。
- ・経営事項審査で加点評価の対象となります。

・掛金の一部を国が助成します。

・掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。

・事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

《建退共制度の特例措置のお知らせ》

建退共では、地震などにより災害救助法が適用された皆さんに対し、各種手続

きの特例措置を実施しています。

《建退共から事業主の皆さんへ》
・共済証紙は、労働者の就業日数に応じて適正に貼付してください。

・「建設業退職金共済手帳」を所持している労働者が建設業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。

●建設業退職金共済事業福島県支部
024-523-1618

町税等納期

10/2(月)

国民健康保険税(3期)
介護保険料(3期)
後期高齢者医療保険料(2期)

※口座振替の方は、納期限前日までに口座残高の確認をお願いします。

※国民健康保険税はコンビニエンスストアでも納付できます。

ただし納付書1枚の金額が30万円を超えたり、納期限後30日を経過した納付書は、コンビニエンスストアでは使用できません。

※口座振替は、指定の口座から納期限日に自動的に振り替えて納付できる便利な制度ですので、ぜひご利用ください。なお利用するためには申し込みが必要です。

◆総合内科について



添野医師

今回は当院に8月から勤務している常勤医師の添野祥子そえのしょうこ医師から「総合内科について」お知らせします。

総合内科(総合診療科)とは、高齢社会となり1人で1つ以上の病気を持つ人が増えている中で、複数の病気のバランスを考えながら総合的に診療する科です。NHKのドクターGで紹介されたため、

ご存知の方もいらっしゃるかもしれません。

患者さんやご家族の方からのお話(病歴聴取)と身体診察が最も重要で、診療に時間がかかることもありますが、皆さんのお役に立てるように精一杯頑張ります。

平成28年に設立された県立医科大学総合内科とも連携し、診断・治療困難の場合は迅速に適切な専門診療科へ紹介します。

また臨床研究について、県立医科大学の社会人大学院生として、入院病棟での身体抑制に関する研究を続けています。今後、理学療法士との共同研究として運動教室を開催する予定ですので、興味のある方はぜひお声掛けください。

添野医師の診療日、受付時間については当院までお問い合わせください。

☎公立小野町地方総合病院総務課
☎72-3181

秋の全国交通安全運動を実施します！

◆目的

秋になると、日没の時間が早くなるため、例年、夕暮れ時や夜間には、重大事故につながるおそれのある交通事故が全国的に多発します。

このような状況を改善するため、交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることによって、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

◆期間

9月21日(木)から9月30日(土)まで

◆運動のスローガン

「身に付けよう 命のお守り 反射材」

◆運動の重点

- ①子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ③すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶

平成29年就業構造基本調査にご協力ください

町では、10月1日現在を基準日として就業構造基本調査を実施します。

これは、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的とし、統計法に基づく基幹統計調査として国(総務省統計局)が実施する重要な調査です。

調査対象は、統計理論に基づき無作為に選ばれた全国の約52万世帯で、その世帯に普段住んでいる15歳以上の世帯員約108万人です。

調査をお願いする世帯には、9月下旬に調査員がうかがい、調査書類をお配りします。

皆さんにより便利にご回答いただくため、パソコンやスマートフォンを使って、簡単にインターネットで回答することが可能となっています。

調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。

☎企画政策課
☎72-6939

お知らせ information

お知らせ

国保からのお知らせ

① 特定健診は毎年受けましょう!

現在国民健康保険の被保険者で、40歳以上75歳未満の方の特定健診は、医療機関で受診できます。対象者には、5月下旬に受診券（ピンク色）をお送りしました。年に1回の特定健診を受診して、自分の健康状態をチェックし、バランスの取れた食生活、適度な運動を心掛けて、生活習慣病予防・健康の維持増進に努めましょう。

なお7月に実施した住民総合健診で特定健診を受診した方は、重複して医療機関で受診することはできませんのでご注意ください。

◆持参するもの

- ① 特定健康診査受診券
 - ② 国民健康保険被保険者証
 - ③ 自己負担金(1,000円)
- ◆実施医療機関(町内・順不同)
- ・ 公立小野町地方総合病院
 - ・ 石塚医院
 - ・ かみや内科クリニック
 - ・ さいとう医院
 - ・ 島貫整形外科
 - ・ 橋本医院

※田村市・三春町の医療機関でも受診できますのでお問い合わせください。

◆実施期間

11月30日(木)まで

☎町民生活課

72-16933

② 国民健康保険被保険者証の更新について

現在交付している「国民健康保険被保険者証(保険

証)は、有効期限が9月30日までとなっています。新しい保険証(青色)は、9月末までに各世帯に簡易書留で郵送します。10月1日以降に診療を受ける際は、新しい保険証を医療機関に提示してください。

有効期限が切れた保険証は、10月1日以降に町民生活課まで返却してください。

保険証は、国民健康保険に加入していることを証明する大切なものです。汚したり、紛失したりしないようにしましょう。

勤務先の健康保険に加入したり、退職などで健康保険を脱退したりした場合は、町民生活課で手続きが必要です。

☎町民生活課

72-16933

「健康長寿いきいき県民フェスティバル」開催のお知らせ

介護予防や高齢者の社会

参加の重要性を知っていたため「健康長寿いきいき県民フェスティバル」を次のとおり開催します。

登山家の三浦雄一郎さんの講演会や介護予防に関する各種体験など介護予防や高齢者の社会参加について理解を深める機会です。ぜひご参加ください。

なお参加を希望される方は、事前の申し込みが必要となりますのでご注意ください。

◆日時
10月22日(日)午前10時30分から午後3時まで

◆会場
ビッグパレットふくしま展示ホールC、屋外展示場

◆参加費 無料

◆主催 福島県

◆申し込み・問い合わせ先
いきいき県民フェスティバル事務局(株式会社ライト・エージェンシー内)
024-1521-2550

◆受付時間
午前9時から午後5時まで(土曜・日曜・祝日は除く)

こおりやま障害者就職面接会開催のお知らせ

仕事を探している障がいをお持ちの方と、企業の採用担当者が一堂に会し、就職面接会を行います。

参加を希望される方は、事前にハローワークへの求職登録と就職面接会参加の申し込みが必要ですのでご注意ください。

お互いに理解を深めながら面接できる機会ですので、ぜひご参加ください。

◆日時
10月17日(火)午後1時30分から午後4時まで

◆会場
ビッグパレットふくしま多目的展示ホールA

◆参加企業 約40社

◆主催
ハローワーク郡山・福島労働局

◆申し込み・問い合わせ先
ハローワーク郡山
024-1942-8609
部門コード 44#

うつくしま地球温暖化防止活動推進員養成研修会開催のお知らせ

県では、地球温暖化の現状や影響、対策などについて学習した上で、地域の方々とともに理解を深める活動を積極的に行う「うつくしま地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修会を次のとおり開催します。

◆対象

地球温暖化防止活動に関心があり、地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受けた方

◆日時

10月27日(金)午後1時から午後3時30分まで(開場は午後1時)

◆会場

郡山市中央公民館第4講義室(郡山市麓山1-8-4)

◆研修概要

地球温暖化の現状と対策や地球温暖化防止推進員の活動事例など

◆申し込み締切

10月20日(金)まで

◆受講料 無料

◆定員 30人(先着順)

◆申し込み・問い合わせ先

県地球温暖化防止活動推進センター(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)
〒963-8835
郡山市小原田2-19-19
☎024-944-0083

1994年頃までに出産や手術による大量出血などをされた方へ

1994年頃までに出産や手術による大量出血などの際に血液からつくられた医薬品(フィブリノゲン製剤・血液凝固因子製剤)が使用されたことによつて、C型肝炎ウイルスに感染された方へのお知らせです。

「特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法」に基づき、平成30年

◆ご注意



ヒアリにご注意ください

ヒアリはこれまで日本では見つかっていませんでしたが、今年の5月に兵庫県尼崎市で発見され、その後各地で確認されています。

ヒアリは南米原産で体長は2.5ミリから6ミリ程度、体色は主に赤茶色の有毒のアリで、極めて攻撃性が強いとされており、大変危険です。

ヒアリの毒はハチ毒との共通成分などが含まれており、ヒアリに刺された経験がなくてもハチ毒アレルギーを持つ方は特に注意が必要です。

◆ヒアリに刺された場合の留意事項

《軽度の症状》

熱感を伴う激しい痛みを感じ、やがて刺された痕がかゆくなり、その後膿が出ます。

《中度の症状》

刺された部分を中心に腫れが広がり、部分的または全身にかゆみを伴う発疹が現れることがあります。

《重度の症状》

息苦しさや声枯れ、激しい動悸やめまいなどを起こすことがあり、進行すると意識を失うこともあります。これらの症状が出た場合は、重度のアレルギ―反応である「アナフィラキシー」の可能性が高く、処置が遅れると生命の危険も伴います。

◆対処方法

《刺された直後》

20分から30分程度は安静にし、体調の変化がないか注意してください。

《容態が急変した場合》

体質によっては、重度の症状となる場合があります。容態が急変したときは救急車を要請するなど、すぐに医療機関を受診してください。

●健康福祉課

☎72-6934

■田村地方夜間診療所の当番医

田村地方夜間診療所では、田村地方の医療機関が交替で診療しています。当番医については下表のとおりです。

【9月】

日	月	火	水	木	金	土
10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
	せんざき医院	のざわ内科 クリニック	都路診療所	船引クリニック	大方病院	
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
		まつざき内科 胃腸科クリニック	さいとう医院	秋元医院	橋本医院	
24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
	雷クリニック	島貫整形外科	白岩医院	東部台こども クリニック	まつえ整形外科	

【10月】

日	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
	春山医院	白岩医院	三春病院	さとう耳鼻 咽喉科クリニック	石塚医院	
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
		石川医院	清水医院	南東北 滝根診療所	かとうの内科 クリニック	
15日						

◆診療内容：内科、小児科疾患の一次救急です。 ◆受付時間：午後7時から午後9時30分まで

☎田村地方夜間診療所（田村市船引町船引字源次郎 68-2（福祉の森公園地内）） ☎ 81-2233

■休日当番医・院外薬局

月	日	当番医	電話番号	薬局	電話番号
9	17日	南東北病院滝根診療所(田村市滝根町)	78-2442	オリオン薬局(田村市滝根町)	68-1455
	18日	秋元医院(田村市船引町)	82-1514	—	—
	23日	せんざき医院(三春町)	61-2777	みはる調剤薬局(三春町)	61-1616
	24日	青山医院(田村市常葉町)	77-2015	タカギ薬局(田村市常葉町)	77-4381
10	1日	石塚医院(小野町)	72-2161	ヤナイ調剤薬局(小野町)	72-5912
	8日	石川医院(三春町)	62-2630	—	—
	9日	西山医院(三春町)	62-2473	ふくだや薬局(田村市船引町)	86-2013
	15日	遠藤医院(田村市船引町)	85-2016	—	—

◆電話確認の上、受診してください。詳しくは「ふくしま医療情報ネット」の「休日当番医をさがす」をご覧ください。
<http://www.ftmis.pref.fukushima.lg.jp/>

◆こども救急電話相談

受付時間：午後7時から翌朝午前8時まで(年中無休)

☎024-521-3790(一般ダイヤル回線)、#8000(短縮ダイヤル)

❖お誕生おめでとう❖

氏名 父・母 行政区
 会田 龍介 (りゅうすけ) 功・郭曉華 荒 町
 久下 歩舞 (あゆむ) 右京・くるみ 谷津作
 吉村 真洸 (まひろ) 理・優子 皮籠石
 石井 文智 (あやと) 克寿・仁美 浮 金
 西牧 蒼嵐 (そらん) 健太・なるみ 浮 金
 大竹 颯心 (そうしん) 靖・幸子 塩庭二区
 (7月届出分)

❖おくやみ申し上げます❖

氏名 年齢 行政区
 白石 チカエ 102 谷津作
 二瓶 勝利 78 谷津作
 今泉 熊二郎 94 夏井
 (6月届出分)
 草野 ミヨ 86 本町
 水野 ふさ 94 反町
 武田 之夫 82 大八
 先崎 千秋 68 谷津作
 藤井 歳尾 90 浮金
 根本 キク 89 夏井
 (7月届出分)

※この欄は、届出の際に同意を得た方を記載しています。



上水道水質検査結果

7月に実施した水道水の水質検査の結果は、次のとおりです。

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/mℓ以下	0CFU/mℓ
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/ℓ以下	14.3mg/ℓ
有機物(TOC)	3mg/ℓ以下	1.5mg/ℓ
PH値	5.8~8.6	7.1
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	1度未満
濁度	2度以下	0.1度未満

☎地域整備課 ☎72-6936

■町の人口・世帯数()内は前月比 平成29年8月1日現在

人口	男	4,988人(3人)
	女	5,191人(△1人)
	計	10,179人(2人)
世帯数		3,448世帯(△3世帯)

福島県現住人口調査結果から



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。



食品などの放射能測定結果

町で実施している簡易検査、ゲルマニウム半導体放射能測定器および非破壊式測定器による検査結果をお知らせします。

【簡易測定器による測定結果】

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	—	—

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	0	—

※食品以外の検体については、結果に含まれていません

【ゲルマニウム半導体放射能測定器による測定結果】

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	—	—

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	20	水道水
	4	井戸水、引き水

※食品以外の検体については、結果に含まれていません

【非破壊式測定器による測定結果】

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	—	—

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	4	トマト、キュウリ、ジャガイモ、ハクサイ

※食品以外の検体については、結果に含まれていません

◎食品中の放射性物質(セシウム)の基準値

飲料水…10Bq/kg 牛乳・乳幼児食品…50Bq/kg

一般食品…100Bq/kg

※平成24年4月から新しい基準値が設定されました。

【検査を希望される方へのお願い】

①土やゴミなどの汚れをきれいに洗い流し、すぐに調理できる状態で持参してください。

②検体は1kgを持参してください。

※量が少ないと正確な数値が出ない場合があります。

☎健康福祉課 ☎72-6934



図書館
library

◎県立図書館と福島民友新聞社を見学

「こども図書館員講座」と公民館「おやこ体験くらぶ」の受講者計36人が8月18日に県立図書館と福島民友新聞社を見学しました。

普段では見られない図書館の裏側や新聞社の製作現場などの説明を受け、真剣な様子で見学していました。



見学に参加した皆さん

◎読書マラソン完走者のご紹介



蓬田凧沙さん(小野新町小1年)が100冊読破を達成し、読書マラソンを完走しました。完走した蓬田さんには記念バッジと図書館バッグが贈られました。

読書マラソンは、どなたでも参加することができます。皆さんも読書マラソンを始めてみませんか。



読書マラソンを完走した蓬田さん



全館

◎ふるさと文化の館・全館休館のお知らせ

◆全館休館の期間

10月2日(月)から10月27日(金)まで

玄関前スロープ改修工事および蔵書点検・館内整備のため、全館休館となります。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。

なお休館期間中の平日は、次の施設を開放していますのでご利用ください。

《多目的研修集会施設の一部》

午後3時から午後6時30分まで
※学習や待ち合わせの場所としてご利用ください。

《子育て支援課内・遊びのコーナー》

午前8時30分から午後5時まで
※親子の遊びや交流の場所としてご利用ください。



美術館
Museum

◎こども美術館「名画に親しもう」開催

こども美術館「名画に親しもう」が8月5日から8月20日までの期間で開かれ、ヨーロッパの著名な油彩作品の複製画20点を展示しました。

展覧会には子どもから大人まで多くの方々が来場し、教科書でおなじみの名画を実際に触れて、絵の具の質感を体感することができました。



名画を鑑賞中

